

なぜこのような質問をするのですか？

シーメンスの社外監査人はプライスウォーターハウスクーパーズ及びその関連ネットワークファーム（以下‘PwC’）です。シーメンスの帳簿書類について偏りのない独立した意見を表明するためには、PwCのシーメンスグループに対する独立性が確保されていなければなりません。PwCの独立性はPwCとシーメンスで共同して維持されるものです。

他の要因の中でも、シーメンスとPwCの従業員との間の雇用・採用に関する話し合いによっても、PwCの独立性に対するリスクが生じる可能性があります。

この確認は誰に適用されますか？

あなたの現在の雇用主がPwC社でない場合、この確認書は適用されません。

現在PwC社に雇用されている場合は、以下の条件をよくお読みください：

- 1つ以上該当する場合は、チェックマークを付けてください。
- 1つも該当するものがない場合は、チェックマークはつけないでください。

PwC社の現従業員がアセスメントする条件項目

1. 現在のシーメンスの会計年度（10月から9月まで）において、シーメンスまたはシーメンス関連会社（シーメンスヘルスケアを含む）のPwC監査関与チームに所属しているか、または所属していた、**かつ/または**
2. 現在、シーメンスまたはシーメンス関連会社（シーメンスヘルスケアを含む）のPwC監査関与チームに所属する予定である、**かつ/または**
3. PwC社のシーメンスまたはシーメンス関連会社（シーメンスヘルスケアを含む）の監査関与チームの作業文書にアクセスできる、**かつ/または**
4. PwC社で現在“パートナー”ポジションについている